

全国大会のパネル・ディスカッションについて

企画委員長

岸本美緒（お茶の水女子大学）

かねてお知らせの通り、2009年度の全国大会（東洋大学、9月26日—27日）では、共通論題を企画せず、大会二日目のプログラムをすべて公募のパネル・ディスカッションで組むという試みを行いました。会員の関心の多様化に伴い、パネルも会員のニーズに応じた多様化を図ろうとしたものです。果たして多くの公募があるかどうか、質の面で問題が生じないかどうか、など、不安もありましたが、応募件数は11件という予想外の多数にのぼり、かつ企画内容も充実したものであったため、すべて採用されることとなりました。その結果、大会二日目は一時間帯あたり2時間半として午前、午後前半、午後後半の3つの時間帯に分け、一時間帯について3つないし4つのパネルが同時に行われるという、多彩な中身がぎっしりとつまったプログラムとなりました。

すべてのパネルを2時間半におさめていただいたことから組織者・報告者には限られた時間を有効に使うべくかなりの努力をお願いすることとなり、また重なるパネルが多くなったことからどれに出るか選択に迷われた方々もあったかもしれませんが、全体として参加人数の総数も多く、内容も好評で、この試みは大いに成功したと評価してよいと思います。

2010年度の全国大会は、6月19日、20日に関西学院大学で開催されますが、2009年度の試みを引き継いで、共通論題を設けることはせずに公募のパネル・ディスカッションで大会二日目のプログラムを編成する予定です。大会の開催月が9月から6月になったことに伴い、公募締め切りは2009年度よりも3カ月ほど早い09年12月21日に設定されておりますが、会員の方々におかれましては、ぜひ2009年度大会に引き続き新鮮な企画をたていただき、活発な応募をしてくださるよう、お願い申し上げます。また、大会パネルの成果を小特集として機関誌に反映することも2009年度から試行しており、2010年度についても続行の可能性がありますので、その点も視野に入れて応募していただければ幸いです。応募の申込用紙及び手続等については、本ホームページの学会最新ニュース「自由論題・パネルの公募について」をご覧ください。